

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公表番号】特表2009-536174(P2009-536174A)

【公表日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2009-508332(P2009-508332)

【国際特許分類】

C 07 D 251/54 (2006.01)

A 61 K 8/49 (2006.01)

A 61 Q 17/04 (2006.01)

C 07 D 251/56 (2006.01)

A 61 K 31/53 (2006.01)

A 61 P 17/16 (2006.01)

【F I】

C 07 D 251/54 C S P

A 61 K 8/49

A 61 Q 17/04

C 07 D 251/56

A 61 K 31/53

A 61 P 17/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月26日(2010.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

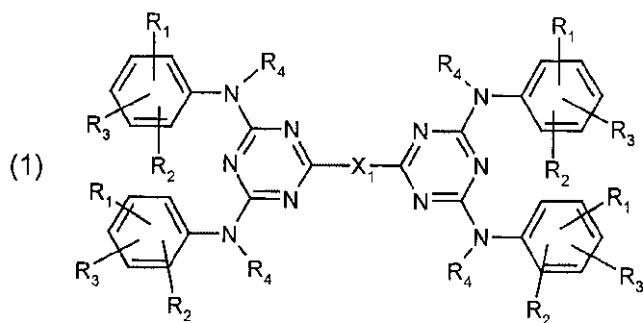
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式

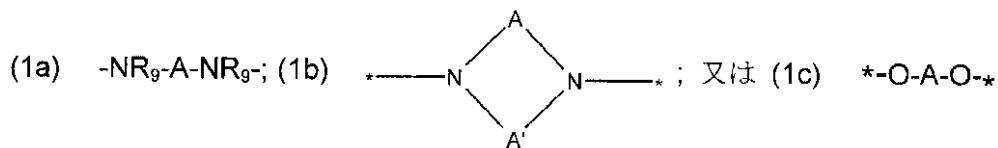
【化1】



[式中、

X1は、式

【化2】

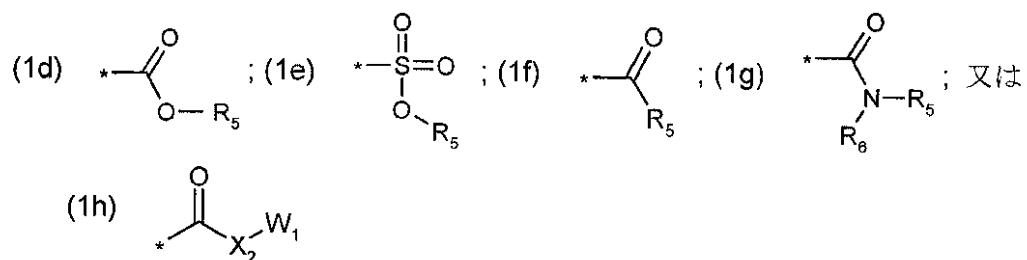


で表わされる2価の基を表わし、

A及びA'は、互いに独立して、炭素原子数5ないし12のシクロアルキレン基、N、O又はSによって所望により中断された、未置換の又は置換された、直鎖の又は枝分かれした炭素原子数1ないし12のアルキレン基；炭素原子数5ないし12のシクロアルキレン基；ビフェニレン基；炭素原子数6ないし10のアリーレン基；又は、炭素原子数5ないし10のアリーレン-（炭素原子数1ないし12のアルキレン）基を表わし；

R₁は、式

【化3】



で表わされる基を表わし；

R₂及びR₃は、互いに独立して、水素原子；炭素原子数1ないし12のアルキル基；OR₇；NR₇R₉；炭素原子数6ないし10のアリール基を表わし；

X₂は、O又はNHを表わし；

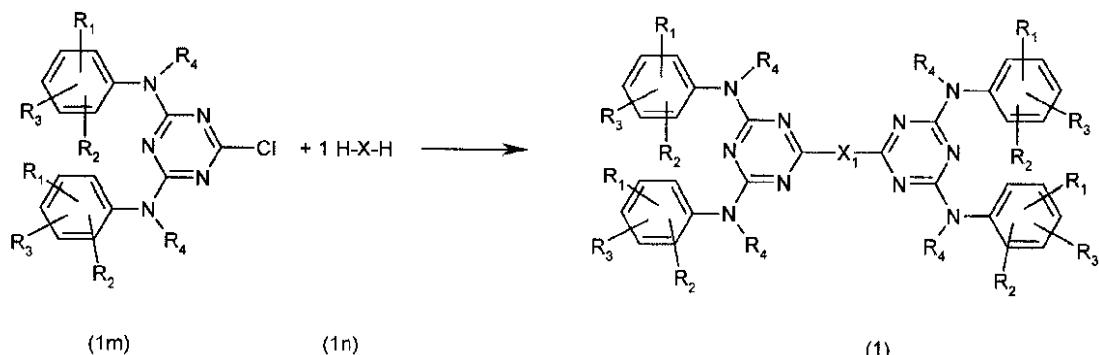
W₁は、炭素原子数1ないし20のアルキル基；又は基S_p-S_i1（ここで、S_pは、直鎖の又は枝分かれした、飽和した又は单不飽和の又は多不飽和の炭素原子数3ないし12の炭化水素基を表わし；S_i1は、シラン；オリゴシロキサン又はポリシロキサン部分を表わす。）を表わし；及び、

R₄、R₅、R₆、R₇、R₈及びR₉は、互いに独立して、水素原子；炭素原子数1ないし12のアルキル基；又は炭素原子数3ないし12のシクロアルキル基を表わす。]で表わされる化合物。

【請求項2】

式(1)で表わされる化合物の製造方法であって、以下の反応スキーム

【化4】



（式中、R₁、R₂、R₃、R₄及びX₁は、請求項1で定義した通りである。）に従って、式(1m)で表わされるクロロトリアジン2モルと式(1n)で表わされる化合物1モルとを反応させることを含む方法。

【請求項3】

微粒化された、式(1)で表わされる化合物の製造方法であって、適切な溶媒から湿式粉

碎、湿式混練、噴霧乾燥することによって、式(1)で表わされる化合物の適切な溶媒からのR E S S法に従った膨張によって又は再沈殿によって、0.02ないし2μmの平均粒子サイズを有する微粒子を得ることを含む方法。

【請求項4】

化粧品的に許容可能なキャリヤー又は補助剤と一緒に、少なくとも1種の、請求項1に記載の式(1)で表わされる化合物を含む化粧品組成物。

【請求項5】

式(1)で表わされる化合物が微粒化状態で組成物中に存在する請求項4に記載の化粧品組成物。

【請求項6】

(a) 0.02ないし2μmの粒子サイズを有する、少なくとも1種の微粒化された式(1)で表わされるUV吸収剤、及び、

(b) 適切な分散剤

を含むUV吸収剤分散体。